



# 鴻巣西中通信

学校だより No.3

学校教育目標 「心豊かで たくましい 西中生」  
公式ホームページ <https://konishi-j-konosu.edumap.jp/>

鴻巣市立鴻巣西中学校  
鴻巣市大間1161番地  
令和8年5月29日

生徒たちがPRIDEを懸けて創っています

校長 三杉 紀文

紫陽花の花が鮮やかに咲き始める季節となり、保護者や地域の皆様の支えのもと、生徒たちは日々の学びを積み重ねています。

さて、今年度は運動部の学校総合北足立北部班大会が5月開催となった影響で、例年5月に開催していた体育祭が6月開催へ変更となりました。このため、5月末は部活動の班大会前最後の練習と体育祭の準備が並行する忙しい日々となりました。特に3年生にとっては、中学校体育連盟の大会としては最後の部活動の大会、また中学校での最後の体育祭であり、体が2つ欲しいと思った生徒もいたかもしれません。

そうした例年以上に難しいスケジュールに対して、第47回体育祭に向けての取組は4月から始まりました。本当は、体育祭当日以上にこの取組の生徒たちの姿を保護者の方々にも見ていただきたいと思うのですが、生徒たちにとっては、保護者等の方々には直接見られていると気恥ずかしくてやりにくいと感じるところもあるので、この場を借りて取組の一部を紹介させていただきます。

2・3年生が演舞する「西中PRIDEソーラン」のソーラン隊長決めるところから、ドラマは始まります。2・3年生とも立候補者が多かったため、オーディションを行って隊長を決めました。オーディションの結果発表で残念ながら隊長になれなかった生徒の中には、悔しくて泣いている生徒たちも複数いました。それくらい本気で挑戦していて、その姿はまぶしいばかりでした。こうして選抜されたソーラン隊長たちは、隊長になれなかった生徒たちの想いも背負って練習に臨むこととなりますから、気合十分です。昼休みに体育館で行ったソーラン隊長だけの練習では、体育館全体が揺れるような迫力ある演舞を展開し、ここに懸ける気持ちが強く伝わってきて心を動かされました。これぞまさに「西中PRIDE」です。

5月の連休明けには、2・3年生合同でのソーラン全体練習が始まりました。この全体練習は、教員ではなく、3年生の体育委員たちがリーダーとして、全体に指示を出し、練習を進めていきます。うまくいかない部分があると、体育委員が集まって相談し、ソーラン隊長たちとも協力して、自分たちで対策を考えて改善していくのです。そういう過程を経て、生徒たちの手で創り込まれる「西中PRIDEソーラン」です。ぜひ多くの方にご覧いただければ幸いです。

